



「松戸事業本部の運営体制の見直しについて」提案を受ける！その②

その①からの続き

組 合	会 社
● この施策によって実施の目的はどのように果たされるのか。 ● その考えは現場では働く社員から出ている意見なのか。それとも施策を企画・立案する側から出ている意見なのか。	● これまでホーム社員が改札に入る時間は 3 時間ほどだったが、さらに改札に入る時間が拡大する。また、これまでホーム社員が主に行っていた遺失業務を改札社員が担うことができる。効率的で生産性の高い業務執行体制と社員の成長の実感是一对と考える。 ● どちらかと言えば企画・立案する側から出ることが多い。
● 設備面での変更はあるか。 ● 第 3 ホームトイレは引き続き使用できるのか。 ● 遺失物の対応カウンターは改札窓口とは別に設置するのか。	● 列停表示盤については改札内に置く。放送はすでに改札からホームへできるようになっている。 ● 使用できる。 ● 現在検討中である。
● 必要な教育や訓練の内容を具体的に示すこと。	● 遺失登録アプリの教育、社員によっては構内放送のスキルアップ教育も必要と考えている。
● 信号所の移設も計画されていると聞いている。信号所が移設した場合も体制を変更するのか。	● 駅改良工事では、信号所の移設と出札の移転も計画されているが、体制が変化することは予定していない。

JR 東労組は「組織再編後も労使議論の質は落とさない」ことを会社と確認しています。

議論の相手が松戸事業本部でも上野事業本部でも私たちがやることに変わりはありません！！

働く者の利益や「安全・健康・ゆとり」を守るために労働組合の視点から会社と議論をしていきます。